

8月 21-27 日

ネヘミヤ 10-11 章

37 番の歌と祈り 河野 正和

開会の言葉（1分）大谷 正

神の言葉の宝

「エホバのために犠牲を払った人たち」（10分）田中 克彦

宝石を探し出す（10分）星 延宏

ネヘ 10:34 私たちはくじを引いて、毎年決められた時に祭司やレビ族や民が氏族ごとにどの順番で神の家にまきを持っていくかを決める。律法に書かれている通りにエホバ神の祭壇で燃やすまきである。

民がまきを持ってくるよう求められたのはなぜか。（塔 06 2/1 11 ページ 1 節）***ネヘミヤ記の目立った点*** 10:34 — 民が薪を供給することを求められたのはなぜですか。薪の提供については、モーセの律法では命じられていませんでした。この要求はあくまでも必要から生じたものです。祭壇上で犠牲を燃やすには、大量の薪が必要でした。非イスラエル人の神殿奴隷として仕えるネティニムが十分いなかったようです。それで、くじを引いて薪の安定的な供給を図りました

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。(10:39)神の家をないがしろにしないと表現されているように、イスラエル人はかえって感謝の気持ちをいだいて神の家を支持し、そこで行なわれる祭りに集うことによって、神の教えを生活に適用するよう助けられた。私たちも、近づく地区大会に出席し寄付などの支持もして、是非辛抱強い人になるための力を得ていきたい。

聖書朗読（4分）ネヘ 10:28-39（教励 第 5 課）米山 英行

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。集会に招待する。「王国会館においでください」の動画を紹介し、話し合う（不再生）（教励 第 1 課）荻原 幸子 1 金刺 桂子

再訪問（4分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を提供し、「この冊子の特徴」の部分を簡単に説明（教励 第 4 課）田中 麻美子 4 石原 里佳

話（5分）塔 11 2/15 15-16 ページ 12-15 節 主題: エホバに喜ばれる犠牲（教励 第 20 課）阿部 直生

クリスチャンとして生活する

81 番の歌

「新奉仕年度の目標は何ですか」 (10分) 討議。五味 統

「神の王国について知らせる 9月の特別な宣教キャンペーン」 (5分) 奉仕監督による話。キャンペーンに熱心に参加するよう励まし、会衆の取り決めを知らせる。浮田 蒼

会衆の聖書研究 (30分) 暮 レッスン 55 ポイント 1-4 吉田 忍 朗読: 長谷川 瑛一

閉会の言葉 (3分)

92 番の歌と祈り 有田 悟

^ (ネへ 10:1-11:36) 印を押した人たちは次の通りである。ハカルヤの子である総督*ネヘミヤ、ゼデキヤ、2 セラヤ、アザリヤ、エレミヤ、3 パシュフル、アマルヤ、マルキヤ、4 ハトシュ、シェバヌヤ、マルク、5 ハリム、メレモト、オバデヤ、6 ダニエル、ギネトン、バルク、7 メシユラム、アビヤ、ミヤミン、8 マアズヤ、ビルガイ、シエマヤ。これらの人は祭司である。9 レビ族は、アザヌヤの子エシュア、ヘナダドの子の1人ビヌイ、カドミエル、10 その兄弟たちである、シェバヌヤ、ホディヤ、ケリタ、ペラヤ、ハナン、11 ミカ、レホブ、ハシャブヤ、12 ザクル、シェレブヤ、シェバヌヤ、13 ホディヤ、バニ、ベニヌ。14 民の長は、パルオシュ、パハト・モアブ、エラム、ザト、バニ、15 ブニ、アズガド、ベバイ、16 アドニヤ、ビグワイ、アディン、17 アテル、ヒゼキヤ、アズル、18 ホディヤ、ハシュム、ベツアイ、19 ハリフ、アナトテ、ネバイ、20 マグピアシュ、メシユラム、ヘジル、21 メシエザブエル、ザドク、ヤドア、22 ペラトヤ、ハナン、アナヤ、23 ホシエア、ハナニヤ、ハシュブ、24 ハロヘシュ、ピルハ、ショベク、25 レフム、ハシャブナ、マアセヤ、26 アヒヤ、ハナン、アナン、27 マルク、ハリム、バアナ。28 そのほかの民 (祭司、レビ族、門番、歌い手、神殿の使用人*、真の神の律法に従うために周囲の国の人々から離れた人全てと妻や息子や娘たち、知識と理解力がある人*全て) は、29 自分の兄弟たち、主立った人たちに同意し、真の神に仕えたモーセを通して与えられた真の神の律法の通りに歩み、私たちの主エホバの全てのおきてと法規と規定を注意深く守ることを誓い、もしそうしないなら罰として災いを受けることを承知した。30 こう誓ったのである。「私たちは周囲の国の人々に私たちの娘を与えることはせず、その人々の娘を私たちの息子のために迎えることもしない。31 周囲の国の人々が安息日に商品や各種の穀類を持って売りに来たとしても、私たちは安息日や聖なる日には何も買わない。また、7年目には耕作をせず、全ての債務を免除する。32 私たちは、神の家*での奉仕のために、毎年各自 3.8 グラムの銀を納める義務を負う。33 これは、安息日や新月の時の重ねのパン*と日々の穀物の捧げ物と日々の全焼の捧げ物、決められた祝祭、聖なるもの、イスラエルの罪を贖う罪の捧げ物、神の家の全ての仕事のためである。34 私たちはくじを引いて、毎年決められた時に祭司やレビ族や民が氏族ごとにどの順番で神の家にまきを持っていくかを定める。律法に書かれている通りにエホバ神の祭壇で燃やすまきである。35 私たちは毎年、自分の土地の初物と各種の果樹の初物をエホバの家を持っていく。36 律法に書かれている通り、

エホバのために犠牲を払った人たち

自分の土地や家を後にしてエルサレムに移動するよう求められた家族がいた。(ネへ 11:1 民の高官たちはエルサレムに住んでいた。ほかの民はくじを引き、10 人のうち 1 人が聖なる都市エルサレムに住み、あとの 9 人がほかの町々にとどまった。塔 98 10/15 22 ページ 13 節) ***エルサレムという名のとおりの都*** 喜びに満ちた奉献式(13 エルサレムの城壁の奉献を行なえるようになる前に、どんな緊急な事柄に注意を向けなければなりませんでしたか。多くの人々は、どんなりっぱな手本を残しましたか) 13 ネヘミヤの時代に印により有効にされた「信頼できる取り決め」は、エルサレムの城壁の奉献式を行なう日に向けて、昔の神の民を整えました。しかし、注意を向けるべき緊急な事柄がまだありました。エルサレムは今や、12 の城門を備えた、大きな城壁で囲まれていましたが、もっと多くの住人を必要としていました。そこに住んでいたイスラエル人もいたとはいえ、「この都は広々として大きかったが、その内にはわずかの民しか」いませんでした。(ネヘミヤ 7:4) この問題を解決するため、民は「くじを引いて十人のうちから一人ずつ連れて来て聖なる都エルサレムに住ませ」ました。民は、この取り決めに進んでこたえ応じる気持ちでいたため、「すべて自ら進んでエルサレムに住もうとする人々」を祝福しました。(ネヘミヤ 11:1, 2) 今日の真の崇拜者のうち、円熟したクリスチャンによる助けの必要の大きな所に移動できる状況にある人々にとって、何とりっぱな手本なのでしょう。

ほかのイスラエル人は、進んで犠牲を払った人たちのために祝福を願い求めた。(ネへ 11:2 さらに、エルサレムに住むことを進んで申し出た人全てのために民は祝福を願い求めた。塔 86 2/15 26) ***真の崇拜は勝利を得る*** 世襲所有地をあとにしてエルサレムへ移転すれば幾らかの費用がかかり、何らかの不便もあったことでしょう。また市内に住む人々は様々な危険にさらされたかもしれません。そういう状況のもとにありましたから、他の人々は自発的にそこに住もうとする人々を称賛に値する人とみなし、エホバがその人たちを祝福するよう祈ったに違いありません。

エホバは、私たちが払った犠牲を上回る祝福を必ず与えてくださる。(マラ 3:10 10 分の 1 全部を倉庫に持ってきて、私の家に食物があるようにしなさい。私があなたたちのために天の水門を開いて、あふれるほどに祝福を注ぐかどうか、私を試してほしい) と、大軍を率いるエホバは言う。塔研 16.04 8 ページ 15 節)

信仰を示す人は神の是認を受ける (15. わたしたちの多くはどんな誓いをしましたか。どうすれば信仰を示せますか。) 15 わたしたちはエホバに献身した時、神のご意志を何でも行なうと誓いました。その約束を果たすために自己犠牲が求められることを理解していました。とはいえ、自分が好きではないことを求められる場合、進んで行なう精神が試されます。自分にとって楽ではないことでも、自己犠牲の精神を示して行なうなら、信仰を実証できます。犠牲には痛みが伴うかもしれませんが、エホバは必ず、犠牲をはるかに上回る祝福を与えてくださいます。

(マラ 3:10) では、エフタの娘はどうでしたか。



パッキングの時に飛行機運賃追加を防ぐために重量制限を気にする必要があるたり
現地で宿舎や車を借りるか買うかするために、生活費のためのお金を貯めておく必要があり
パスポートと大使館や総領事館でのビザの申請
言語や土地の習慣についての学習
外国語の会衆に交わる場合は、集会や割り当てのための長時間の準備
車の運転のためには、国際免許証か、現地で運転免許を取得
現地の風土病のためのワクチン接種、また入院や思いもよらない事故に備えた保険に入る必要も
しなければならない仕事は割と多く、大きな犠牲が求められるかも
それでも大きな祝福にあずかれる

考えてみよう「エホバに仕えるために犠牲を払ったことで、どのように祝福されてきた」だろうか。

皆事情が異なるが、様々な犠牲を払う機会を通してエホバからの祝福を経験されてきたに違いない。エホバがどのように祝福してくださったか情報を伝え合って、互いに喜びや力をいただくことに

^ (ネヘ 11:1) 民の高官たちはエルサレムに住んでいた。ほかの民はくじを引き、10人のうち1人が聖なる都市エルサレムに住み、あとの9人がほかの町々にとどまった。

^ (ネヘ 11:2) さらに、エルサレムに住むことを進んで申し出た人全てのために民は祝福を願い求めた。

^ (マラ 3:10) 10分の1全部を倉庫に持ってきて、私の家に食物があるようにしなさい。私があなたたちのために天の水門を開いて、あふれるほどに祝福を注ぐかどうか、私を試してほしい」と、大軍を率いるエホバは言う。



クリスチャンとして生活する

新奉仕年度の目標は何ですか

エホバにもっと仕え、エホバに喜んでいただくために、目標を持って努力するのは大切なことです。目標を持つなら、クリスチャンとして進歩することができ、時間やエネルギーを有効に使うことができます。（[テモー 4:15](#) これらのことについてよく考え(*黙想し)、打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう）目標を時々見直すとよいのはなぜですか。状況が変わって、以前の目標が現実的なものではなくなっているかもしれません。目標をすでに達成して、新しい目標を設定できる場合もあるでしょう。

新奉仕年度が始まる前に目標について考えるのは良いことです。家族の崇拝で、個人や家族の目標について話し合うのはいかがでしょうか。

幾つかの分野で具体的な目標を立ててみましょう。その目標を達成するためにどんなことができますか。

1. 聖書通読、個人研究、集会の出席、コメント ([塔 02 6/15 15 ページ 14-15 節](#) 研究を行ないやすく、面白いものにするのは何でしょうか。それは目標を持つことです。研究のためのどんな現実的な目標を定めることができるでしょうか。多くの人にとって、立派な第一の目標は、聖書全巻を読み通すことです。今までは、折に触れて聖書のいろいろな箇所を読み、益を得てこられたことでしょう。では今、聖書全巻を読み通すことを決意してはどうでしょうか。そのための最初の目標は、四福音書を読むことかもしれません。そのあとの中間目標として、クリスチャン・ギリシャ語聖書の残りを読めるでしょう。その結果として満足と益を得たなら、次の目標には、モーセの各書とエステル記までの歴史書を順に読み進むのも良いでしょう。それを達成したら、聖書の残りを読み終えるのは現実的なものに見えてくるでしょう。65歳のときにクリスチャンになったある女性は、聖書の表紙の裏に、通読を始めた日付と、それを終えた日付を記しました。今では、対になったそのような日付が五つ記されています。（[申命記 32:45-47](#)）コンピューターの画面や印字したものではなく、聖書そのものを手に取って読んだのです。 15 聖書全巻を読む目標をすでに達成した人の中には、そのような継続的な研究をいよいよ実り豊かで報いの多いものにするため、さらに別のものを加える人もいます。一つは、聖書を読み進む際、次の書に入る前に、研究資料を選んでそれも読むことです。『聖書全体は神の靈感を受けたもので、有益です』や「聖書に対する洞察」の中に、聖書各書の歴史的

背景、文体、そこから得られる益などに関する優れた情報を見つけることができます。)

2. 野外奉仕 (塔研 23.05 27 ページ 4-5 節 **4 意欲を求めて祈る。** エホバは聖なる力によって私たちに意欲を与えてくださいます。(フィリピ 2:13 を読む。) 私たちは、義務感に駆られて目標を立てることがあるかもしれませんが。もちろん、目標を立てるのはとても良いことですが、義務感だけではなかなか意欲は湧いてこないでしょう。ウガンダのノリーナ姉妹は、聖書レッスンを始めることを目標にしていました。でも、上手に教える自信がなかったので、なかなかやる気になれませんでした。姉妹はこう言います。「意欲を与えてください、と毎日エホバに祈りました。そして、教える技術を磨くよう努力しました。数カ月後には、誰かに聖書を教えたいという気持ちになりました。その年、2 人の人と聖書レッスンを始めることができました」。5 **エホバがしてくださったことについてじっくり考える。** (詩 143:5) パウロは、エホバからの惜しみない親切についてじっくり考えたので、エホバのためにもっと多くのことを行いたいという気持ちになりました。(コリー 15:9, 10。テモ一 1:12-14) 私たちも同じように、エホバがしてくださったことについてよく考えるなら、目標を達成するためにもっと頑張ろうという気持ちになるでしょう。(詩 116:12) ホンジュラスのある姉妹は、開拓者になることを目標にしていました。どんなことが助けになったのでしょうか。こう言っています。「エホバが私をどれほど愛してくれているかについてじっくり考えました。エホバはご自分の家族に私を迎え入れてくださいました。私のことをいつも気に掛け、守ってくださっています。こうしたことを考えると、エホバへの愛が深まり、もっと頑張ろうという気持ちになりました」。)

3. クリスマンとしての人格 (塔研 22.04 23 ページ 5-6 節 **5 具体的な目標を立てる。** 祈りつつ、自分のどこを改善できるかについて考えてみましょう。そして、その中から 1 つを選んで取り組んでみるができます。例えば、いっそう思いやりのある人になること、仲間を助けたいという気持ちを強めること、あるいは、人と仲良くし、快く許すことを目標にできるかもしれません。どうすれば進歩できるかについて、信頼できる人にアドバイスを求めることもできるでしょう。(格 27:6) **6 目標に向かって努力する。** どんなことができるでしょうか。例えば、磨きたいと思っている人格についてよく調べることができます。人を進んで許すことを目標にするとしましょう。その場合、まず、聖書に出てくる進んで許した人や許そうとしなかった人の例について読んで、じっくり考えることができます。イエスはどうかだったでしょうか。イエスは人を進んで許す人でした。(ルカ 7:47, 48) 人の欠点ではなく、良いことを行う可能性に目を向けました。その一方で、イエスの時代のパリサイ派の人たちは「他人をさげす」んでいました。(ルカ 18:9) こうしたことをじっくり考えた上で、「自分は、ほかの人にどんな見方をしているだろうか。その人のどういうところに注目しているだろうか」と考えてみましょう。誰かのことを許すのが難しいと感じているなら、その人の良い点をできるだけ多く書き出してみてください。そして、「イエスだったら、この人をどう見るだろうか。この人を許すだろうか」と考えてみましょう。このようにするなら、考え方を調整することができます。誰かから傷つくようなことを言われたりされたりした場合、初めはその人のことを許すのを難しく感じるかもしれませんが、それでも、努力を続けるなら、進んで許せるようになるでしょう。)

4. その他

再訪問の数、聖書レッスンの数、最初はリモートなども活用して集会に招く新しい人の人数

^ (テモ一 4:15) これらのことについてよく考え(*黙想し)、打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう。



クリスチャンとして生活する

神の王国について知らせる 9 月の特別な宣教キャンペーン

9 月に私たちは、**神の王国だけが人類の問題を解決できる**ことを**知らせる**ために**特別な努力**を払います。（[マタ 24:14](#) **そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます**）**具体的に**どんなことができるでしょうか。**神の王国について書かれている聖句をできるだけ多くの人に伝え**てください。相手が**関心**を示したら、**一般用の「ものみの塔」2020 No. 2**を渡します。関心を高めるために**できるだけ早く再訪問**し、「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を使って聖書レッスンを始めましょう。**9 月に補助開拓奉仕**を行う人は、要求時間として **15 時間か 30 時間のどちらかを選**ぶことができます。

間もなく神の王国は、敵対する政府全てを打ち砕きます。（[ダニ 2:44](#) **この王たちの時代に、天の神は決して滅ぼされることのない王国を建てます。その王国はほかのどんな民にも渡されません。これらの王国を全て打ち砕いて終わらせ、その王国だけが永遠に存続します。**[コリ 15:24, 25](#) **次いで、終わりとなります。その時、キリストは父である神に王国を渡します。その時まで、キリストは全ての政府、また全ての権威と力を除き去っています。25 神がキリストに全ての敵を踏みつけさせるまで、キリストは王として治めるのです**）この**特別なキャンペーン**に**できる限り参加**して、**エホバと王国への忠誠心**を示しましょう。

^ [（マタ 24:14）](#) **そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。**